

# リポートニュース

令和7年12月号 NO.283

ホームページの利用状況報告ですが、5年前のR2.10のHPアクセス数は11,188件でした。翌年同月の「スマホ対応のHP」をリリースした結果、29,568件と一気に跳ね上がりました。その後のアクセス数は徐々に落ち着きを見せ、R7.10では13,709件と安定した数値にとどまっています。ここ数年の傾向として利用者の半数以上は「部品検索サイト」に直接アクセスしている点です。ヘビーユーザーのHP利用状況が想像できます。アクセス数が最も多い週は「水曜日」、週末、月末は減少傾向にあります。一方、リノベートパーツの出荷量が月曜、火曜日に多いのは、週末に部品探しをするユーザーのためにYahooの競売部品の締め切り日を休み明けにしている点があげられます。アクセス数の動きを調べることで、利便性の高い部品供給システムの向上に役立てたいと考えています。

## 豆知識 日産 オーラ FE13(2WD)、FSNE13(4WD) 年式によるRバンパーの相違点

年式	相違点
前期 R3.8~R6.6	下部が平らなデザイン
後期 R6.6~	下部に凹プレスラインのデザイン



前期



後期

## 豆知識 日産 ルークス HWS B44W(2WD)、B45W(2WD、ターボ)、B47W(4WD)、B48W(4WD、ターボ) 年式によるFバンパー内のグリルの相違点

年式	相違点
前期 R2.3~R5.6	中央が蜂の巣状のデザインで下部に大きなメッキが入る
後期 R5.6~	横に4本、黒塗装とメッキが入るデザイン



前期



後期

## 豆知識 ホンダ ステップワゴン RP6(2WD、ガソリン)、RP7(4WD、ガソリン)、RP8(2WD、HV車) R4.5~ グレードによるFバンパーの相違点

グレード	相違点
エア	中央に小さなグリルが入り、左右のフォグが仕切られて入る
スパダ	中央に大きなグリルが入り、ロアのグリルとフォグ部がつながっている



エア



スパダ

## ISO9001 8回目の更新審査準備



来年の2月、ISO9001の更新審査を迎えて、内部監査が11月から始まりました。三年ごとの更新審査は今回で8回目となり、取得から24年を迎えています。経営手法の一つにISO9001品質マネジメントシステム導入したことで、おかげさまで会社も順調に成長を遂げております。取得と同時に発刊された「リノベートニュース」もすでに283号を迎えております。リノベートパーツがここまで皆様にご愛顧頂けたことは夢のようで、さらなる飛躍を願うばかりです。今後もカイゼンを重ね、利便性の高いパーツ提供に努力してまいりますので、一層のご指導をお願いします。

## 年末・年始の営業予定

**休業日：R7年12月26日~R8年1月4日**  
 年末：12月25日まで通常業務（地方発送一部発送不可あり）  
 年始：1月5日より通常業務  
 休業中はご迷惑をおかけいたしますがよろしくお祈りします。

## 貴重なパーツ類が倉庫に眠っていませんか？

BS様の倉庫には「お客様に安価な修理見積を提案できるように！」「と再利用できそうな交換済みパーツが保管されます。ところが同じ車種の車両が入庫してくる確率は低く、そのまま忘れられ、いつの間にか倉庫の中がパーツで足の踏み場もなくなるような状態になってしまいます。当社の仕入営業は定期的に倉庫内のパーツを整理に伺い、重複したパーツや不要になったパーツ類を購入して倉庫内を整理しています。擦り傷程度の高価なヘッドライトが倉庫の隅に眠っているかもしれません。ご連絡いただければすぐにお伺いいたします。



## 個人面談

新年度に入ると、社員から提出された前年度の活動成果と今年度の目標が書かれた面談シートが部門長に提出されます。それらをもとに部門長が面談を行い、最終的に社長面談を迎えます。会社側の期待と社員の目指すべき目標に開きがあるときには、双方が納得のゆくまで面談が続きます。40分程度の面談が1時間を超えるケースも多々あります。全社員一丸となってリノベートパーツの利便性向上にまい進できる環境づくりに努めております。



## 純正部品価格上昇の課題

なにもかも商品価格が上がっている背景には、原油にまつわる原材料の高騰、物流費の増加、労務費の高騰など、様々な要因があげられます。車の定期点検時のワイパー、オイル、バッテリーなどの消耗品類が上昇傾向、メンテナンスコストに影響を与えています。愛車の管理は人任せにしないで、車のメンテナンス記録を管理して、余計な支出を抑える工夫が大切です。お客様の経済的な負担を軽減するためリノベートパーツもお手伝いを惜しみません！



## 井深電機の社長 井深さん



当社の創業S47.3以来、工場の電気設備を担当していただいているのが井深電機社長の井深さんです。井深さんの長男と現社長は、幼稚園からの同級生でもあり、大変縁の深い下請けさんです。電話一本でいつでも駆けつけてくれるので、電気関係は「おっぶにだっこ」状態で全幅の信頼を寄せています。現在83歳。まだまだ現役です。

## 「熊」との「共存」

相談役からの投稿

動物学的に「アンブレラ種」とよばれる「熊」などの大型哺乳類が生存できる森林環境は、多くの生物も生存可能な健全な森林体系の指標となっています。近年、住宅地に現れる熊による農作物被害にとどまらず人的被害も多発して、見過ごすことができない事態に発展し、自衛隊の派遣まで検討されるほどの社会問題になっています。「熊と共存できる社会はできるのか？」の問題提起として3冊の本を紹介いたします。**マタギ**の世界を描いた熊谷達也著3部作「ウェンカムイの爪」「相対の森」「邂逅の森」です。・近頃のクマの行動は私たちに何かを訴えているように思えます。

